

広沢小学校

学校通信

きぼう かね  
**希望の鐘**

桐生市立広沢小学校 開校145年目

0277-52-2028

平成30年5月30日

第3号 児童数508名

## 楽しい遠足と6年修学旅行



1年生は5/17(木)、2～4年生は5/18(金)に、学年ごとに地域の名所や施設まで歩く遠足が無事行われました。心配された雷や雨もなく、元気に行ってきました。また、6年生の修学旅行も5/24(木)25(金)に鎌倉・八景島に無事行ってきました。子供達は、ふだん教室で勉強するのは違って、集団行動や体験を通して、毎年ひとまわりずつ成長しています。5年生は、6/14(木)15(金)に梅田の野外活動センターにて宿泊学習です。



1年・南公園



2年・境野水処理センター屋上公園



3年・松原公園と賀茂神社



4年・桐生水質浄化センター(七目)



6年・鎌倉の大仏



6年・八景島シーパラダイス

## 家庭訪問から

【水筒】本校では平成28年9月下旬から、熱中症やインフルエンザ等の予防対策のため、年間を通じて水筒持参を許可しています。詳細は、1年生(5/16)及び2～6年生(5/17)に出した通知をご覧ください。

【算数アイテム】4年間使用した算数ドリル「アイテム」については、内容・量・価格の観点から見直しを進めました。今年から、全学年で統一した副教材を使用し、基礎基本を徹底します。また、活用問題や発展的内容についても、適宜、授業や宿題に取り入れていきますので、ご理解をお願いします。

【卒業式の袴】昨年度同様、学校として規制しません。華美にならない範囲でご家庭にまかせます。

【運動会の七頭舞】児童数や過去の事案から危険性を考慮し、28年度から組立体操に代わり5,6年全児童による集団表現「七頭舞」に変更しました。多くの保護者から好評を得ています。多様な考えがあります。ご意見をお寄せ下さい。

【教育相談ウィーク】夏休み前の授業参観はなくなりましたが、例年通り**教育相談ウィーク**(7/23～27)は実施します。ぜひ希望されて、担任とお子様の様子や成長などについて話し合ってください。

## 連絡網の廃止

個人情報管理と業務改善から、今年度より学級連絡網の作成配付は廃止します。必要に応じて、**ふれあいメール**(全体、学年)を利用します。また、保護者同士で連絡する必要が生じた場合は、確認をとって

から連絡先(電話や住所)を教えることにします。土日休日の緊急の場合の連絡は、長期休業中の学校閉庁期間と同様に桐生市役所へかけてください。通常連絡は、連絡帳をお願いします。

**注意を!** 夕方の社会体育送迎時に、幼稚園近くで下車した児童が横断歩道を慌てて飛び出し、他の車に接触しそうになった事案がありました。保護者の責任において送迎は敷地内で行い、事故のないよう配慮をお願いします。

## 歯と口の健康診断結果のお知らせ



毎年、4月に実施した歯科検診結果をすべての児童に渡しています。健康に○印がある場合は、これからもこの状態を保つために、歯みがきや食生活に注意して歯・口の健康づくりに心がけて下さい。要観察に○印がある場合は、経過観察が必要です。歯科医院で受診をお勧めしますに○印がある場合は、保護者の責任において、早めに歯科医師により治療・検査を受けて下さい。子ども医療費助成(子ども医療費無料化の制度)という県と市町村の助成により、県内どこに住んでいても子どもの医療が無料で受けられます。平成21年10月から対象範囲を中学校卒業までに引き上げられています。夏休み前を目標に、早めに治療に連れて行ってください。健やかな体は、歯と口からです。

## 障害理解の授業

5/11(金)に、障害理解教育の授業を行いました。「よりよい仲間作りをしよう」という学級活動(よりよい人間関係の形成)の授業です。校長がT1、学年教員がT2です。6年生、5年生、それぞれ学年一緒に行いました。前半は、ゲーム、後半は、DVD視聴です。児童の感想を紹介します。



- ・「猛獣狩りに行こう」と「魚釣りに行こう」とか初めて知りました。ゲームのおかげであまり仲の良くない子と仲良くなりました。
- ・みんなで支え合うことをあたりまえにしたいです。なぜなら、今回の授業で障害がある人も同じ人間同士だからとわかったからです。
- ・外見だけではわからない障害があることを初めて知った。自分とはちがう人のことを大切に、気づかうことがどれだけ、障害者側からすると助かることなのか改めて知りました。
- ・バースディラインが楽しかったです。しゃべらずみんなで理解しあったことが楽しかったです。障害を持っている人がどれだけ大変なのか、ビデオを見てすごくわかりました。これから、障害を持っている人のことも考えたいと思います。
- ・私達は前に(4年生の時)、福祉で不自由な人の身になってみて体験したことがあります。目が見えないのは、不便だし、車イスは自分で動かしたり友達に押ししてもらったりと、まわりにかかわってもらうことを学習しました。でも今日見た(映像の)学校では、そんな人達を支えてあげていたので、いいところだなと思った。
- ・今日の授業では、同じ人はいないこと、みんながいがあること、あたりまえのことができない人がいることがわかりました。この経験をふまえて、これからもそういう人にやさしく接していきたいと思いました。
- ・仲間を作るには自分から積極的に話しかけることが大事という事がわかりました。それとビデオでは、人と人との助け合いが必要不可欠ということがわかりました。私も友達が困っている時は助けようと思いました。
- ・障害を持っている子には見た目とかでもわからないことがあり、その子の気持ちを理解して、しっかりやさしく接することが大切だと思いました。一人ではできない子とかがいたら、手伝ってあげたいと思いました。
- ・映像を見て、障害がある子と仲良く遊んでいていいな、と思いました。野球場で、背が大きい子は見えるけど、小さい子は見えない。だから、台を用意してあげれば見えるという合理的配慮の説明は、いいなと思いました。
- ・合理的はいりよの意味がよくわかり、友達をもっとつくりたいなと思いました。障害をもっている子とのかかわり方をもう一度考えてみようと思いました。
- ・今回の授業で、障害者はいろんな気持ち、不安をかかえているんだと思いました。障害をもっている友達も友達なので、区別しないようにしたいと改めて思いました。そして、今回のめあて「よりよい仲間作り」をいっぱいしようと思う。

本年度、広沢小は**特別支援教育エリアサポートモデル校**として、群馬県教育委員会から指定を受けています(県内5校)。その取組のひとつとして、6/29に子育て支援に関する保護者向け講演会(15時から)を実施します。ぜひ、ご都合をつけてご参加ください。詳しくは、別紙でご案内します。

## 「おーい、でてこーい」

今日は、今から60年前にデビューし、亡くなって20年がたつショート・ショートという短い小説で人気のあるSF作家の星新一さんの作品から「おーい、でてこーい」を紹介します。短いバージョンで朗読します。

<新潮文庫「ボッコちゃん」より短くリライトしたものを話しました>

何でも捨てられる穴があると便利のようですが、実は、空から捨てたゴミが降ってくるという空想のお話です。しかし、今、人間は大量のゴミを捨てています。レジ袋のような使い捨てプラスチック製品のゴミが水深1万メートルを超える深さまで達しています。群馬県民1人が出す1日あたりの燃えるごみの量は、10年連続で全国ワースト1位だそうです。

むだなごみの量を減らす**Reduceリデュース** ゴミにしないで使う**Reuseリユース** 資源に戻し製品を作る**Recycleリサイクル**

3つの頭文字から3R運動といえます。学校や家庭でゴミを減らす行動をみんなできましょう(5/15全校朝会より)。 ※図書室の中島先生が、小学生にも読める「おーい、でてこーい」の本を陳列してくれています。

## プールを安全に楽しく

5/15に6年生がプール清掃を行いとてもきれいになりました。消防第13分団の皆様にも放水による仕上げで毎年ご支援いただいています。**ルールを守**



**って安全に楽しくプール学習**を行いましょう。6/4がプール開きです。

通信文責:校長 伏島均